貧酸素水塊速報（2022年）

【発行】　千葉県水産総合研究センター　千葉県農林水産技術会議
神奈川県水産技術センター　○ 内湾底びき網研究会連合会
【協力】○ 千葉県環境研究センター　○ 東京都環境局
第三管区海上保安本部　（国）国立環境研究所
○ モニタリングポスト（海上保安庁，国土交通省 関東地方整備局）
（今回の速報は"○"の機関の観測データを使用して作成しました）

令和4年7月12日観測結果

貧酸素水塊は、広く分布していました。（図1）。7月6日から8日に青潮が発生したため、貧酸素水塊は解消されました。縦断ラインでも、底層付近に薄く分布しているので、その規模が4%に低下しました(図2,3)。夏型の天候が続くと貧酸素水塊は再拡大します。注意してください。表層水温は24～27℃、底層水温は17～26℃でした。
＊内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

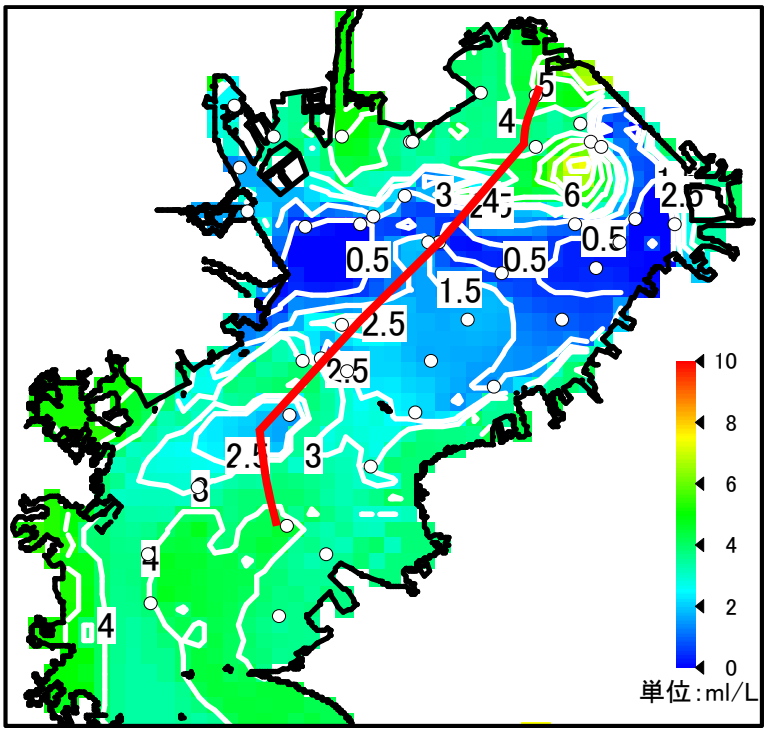

図1　底層の溶存酸素量分布（赤線は縦断ライン）

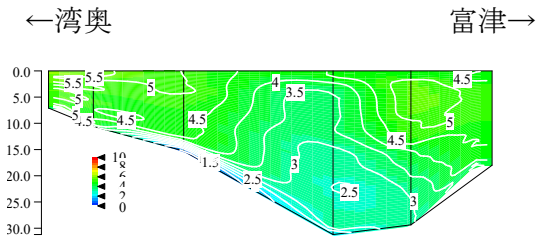

図2　縦断ラインでのDO鉛直分布

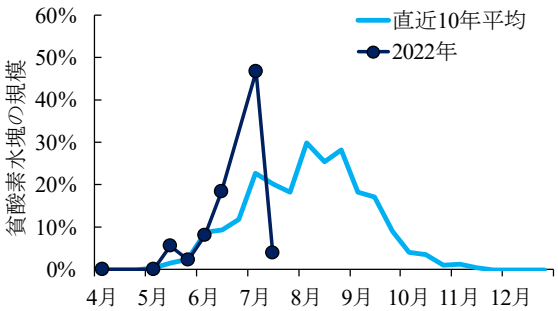

図3　貧酸素水塊の規模
（左図で貧酸素水塊（2.5ml/L以下）が占める割合）

酸素飽和度と溶存酸素量（DO）の目安

酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30～40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	